

7~
9月

夜の自然を感じよう 小学校年1~4年 生活 理科

File E - 2: 赤城の自然に親しむことで、実体験を通して関心を深めるプログラム >>> 夜の自然に触れよう

(ねらい) 夜の世界を直接体感する驚きを通して、身近な自然を見つめ直すことができるようになる。

赤城青少年交流の家 (所要時間 2 時間)

夜の林間でナイトウォークを楽しむ。

【観察】ムササビ、ホタル、夜間の生物の声を聞く。

・夜行性の生き物について知る。

天体観測



【観察】天体観測指導者のもと、木星とはくちょう座の観察

・星空観察から宇宙への関心を深める。

指導体制：指導者 2 名、指導助手 7 名 に対し 対象人数：30~35 人

準備：懐中電灯 10 個、自動追尾の天体望遠鏡 2 台

留意点： 野外での夜間活動であるため、安全面に十分配慮する。

雨天・曇天対応のプログラムの用意

プログラムの関連性

小学校学習指導要領

生活科 1・2年 (6) 身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりなどして、遊びや遊びに使う物を工夫してつくり、その面白さや自然の不思議さに気付き、みんなで遊びを楽しむことができるようにする。

理科 内容B 生命・地球

4年(2)季節と生き物 身近な動物や植物を探したり育てたりして、季節ごとの動物の活動や植物の成長を調べ、それらの活動や成長と環境とのかかわりについての考えをもつことができるようにする。

ア 動物の活動は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあること。

イ 植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあること。

(4)月と星 月や星を観察し、月の位置と星の明るさや色及び位置を調べ、月や星の特徴や動きについての考えをもつことができるようにする。

ア 月は日によって形が変わって見え、1日のうちでも時刻によって位置が変わること。

イ 空には、明るさや色の違う星があること

ウ 星の集まりは、1日のうちでも時刻によって、並び方は変わらないが、位置が変わること。